

## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2020/01/07 ～2020/02/05 )

### 1. 勉学の状況

フィンランドのラップランド大学に来て、約1カ月がたちました。高校時からの念願であった教育学部で勉強できることに幸せを感じ、日々勉強に励んでいます。私はフィンランドのロヴァニエミという町にいますが、本当に自然のきれいな人口の少ない、いい街です。太陽が見える日は限られているため、太陽が昇った時の神々しさには感動します。また、オーロラを普通に町から見ることができるので、驚いています。

私が実際にどんな授業を取っているか紹介したいと思います。Civic Education, Good Governance & Active Citizenship(7ECTS) Theory & Research of Global Education(5ECTS), Special and Inclusive Education, school experience(4ECTS), Teaching English as a Foreign Language(3ECTS), Finnish System of Education(2ECTS), Communication Materials(2ECTS), Survival Finnish(3ECTS), The northern Institute for environmental law(1ECTS), Academic Presentation Skills in English(3ECTS), English lessons observation and teaching(4ECTS)の計34ECT、10個の授業を取る予定です。まだ1カ月しかたっていませんが、既に2つの授業を終えました。それらと、今講義期間真っ最中の授業を簡単に説明していきます。

#### ① Finnish System of Education

この授業では、初回はフィンランドの教育システムの概要、2回目以降は Media education, Adult education, Special education, Early years education の概要について学びました。この授業で一番驚いたことは、フィンランドでの教師という仕事のステータス高さです。教師になりたい生徒は倍率10倍以上の難関を乗り越え大学に入学したのち、マスターまで通います。給料も良く、授業時間も他国と比べて少ないので、家族との時間もあります。日本の教育現場とは大きく異なることに驚きを隠せませんでした。

#### ②Teaching English as a Foreign Language

この授業では、ネイティブスピーカーではない生徒を対象にした英語教授法について学びました。授業では、実際に自分が用意した資料やICTを用いて体験授業をすることができました。私は、「はらべこあおむし」を使った英語授業を実施し、とてもいい経験になりました。

#### ③Survival Finnish

この授業では、基礎的なフィンランド語を学びます。フィンランド語は、発音自体はそのままアルファベットを読めばいいので比較的楽なのですが、一つ一つの単語が長いので覚えるのに大変苦労しています。

#### ④English lessons observation and teaching

この授業では、日本でいう大学の付属学校に行き、そこで実際の英語授業を観察し、教えるという体験ができます。かなりの回数学校に通わなければいけないので大変ですが、今まで本でしか情報を得られなかったフィンランド教育現場の実態を見ることができてとても楽しいです。

## 2. 生活の状況

1か月が経ち、最初は極夜や寒さに体が慣れておらず、かなり肉体的につらかったですが、最近ようやく慣れてきました。しかし、最近は千葉大の課題とこちらの大学の課題がかぶり、少しあたふたしていますが頑張ります。

私は、人数と留学期間の関係上希望の部屋には入れなかったのですが、シングルルームのある部屋でイタリア人留学生とともに過ごしています。彼はとても社交的で綺麗好きなので何不自由なく楽しい寮生活を過ごせています。彼の友達とも仲良くなれたおかげで、こちらに来てから様々なバックグラウンドを持つ人々と関わることでとても嬉しいです。私は、留学をするたびに感じるのですが、こういった交換留学先で友人を作るのは想像以上に大変だと思います。なぜなら、比較的留学生はバックグラウンドが似た者同士で固まってしまうからです。また、基本授業は留学生しかいないため、ただ大学に通うだけでは現地の人々と関わることはできません。私は、できるだけ催し&イベントに参加する、自分の趣味や特技を最大限に生かすこと、日本に興味のある学生と積極的にかかわることが留学先で友人を作るコツだと思います。私は今まで多趣味で一つのことに没頭できない自分が嫌いでしたが、こういった場面においてはどんな話題にもついていけるので、かなりアドバンテージになると感じました。また、アイスホッケーをやっていたおかげで、フィンランドの人々が自分に興味を持ってくれるので、とても助かりました。千葉大学アイスホッケー部の友人たちに感謝です。既にフロアボールのクラブには参加しているのですが、今月からこちらでアイスホッケーをやる予定です。他にも、café lingua というランゲージプログラムに参加しており、隔週で日本語を使って現地の学生と楽しく交流したり、フレンドプログラムに参加し、現地の学生と一緒に遊びに行ったりしています。より多くの人々と関われるようこれからも高くないコミュニケーション能力をフル活用して頑張りたいです。

生活で大変だったことは、クレジットカードの使用上限額が低すぎたため、1週間1ユーロも使えない極貧生活を味わったことと、-20°Cの中、はしゃいだせいか熱になってしまい（コロ

ナではないです)、一度週末を無駄にしてみました。意外と触れられないことですが、カード中心の生活をする方は、デビットカードがちゃんと VISA か mastercard であるか (みずほは JCB なのでご注意ください、全然使えないです)、またクレジットカードの使用上限額が低くないか確認してから留学に行ってください。



